高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者選定委員会 会議録（要旨）

1 日時

令和7年8月6日（水） 午後1時から午後1時30分

2 場所

高石市役所 別館1階 会議室111

3 出席者

委員：棚山 研 委員（羽衣国際大学 現代社会学部現代社会学科 教授）

小谷 恵美子 委員（高石市スポーツ推進委員協議会会長）

中谷 正彦 委員（高石市民生委員児童委員協議会会長）

藤田 政明 委員（高石市連合自治会会長）

高岩 弘至 委員（税理士）

山崎 雅雄 委員（高石市社会福祉協議会会長）

事務局：市長、佐藤保健福祉部長、道井健幸増進課長、松井健幸増進課課長代理

藪内健幸増進課主査

4 選定委員会の開催について

事務局より、委員6名中、6名の出席があり、高石市公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例施行規則第9条第5項に規定により、本委員会が定足数に達していることを報告した。

5 審議案件

○議案第1号 委員長の互選及び委員長の職務を代理する委員の指名について

委員長に棚山委員が選任され、委員長職務代理に藤田委員が選任された。

市長より棚山委員長へ高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者の選定について諮問書が提出された。

○議案第2号 高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者選定委員会の傍聴について

事務局より高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者選定委員会傍聴要綱について説明。同要綱により当日の委員会の傍聴を認めることとなった。なお、傍聴人は7名であった。

○議案第3号 高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者の選定について

事務局より高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者募集要項（案）及び高石市立ふれあいゾーン複合センター管理運営業務仕様書（案）について、説明した。

【説明概要】

- ・人件費、光熱費、物価の上昇等を踏まえて、指定管理料の上限を1年につき1億1,800万円と設定。
- ・光熱費については、毎年度精算しており、現行は3,400万円を指定管理料に含めているが、近年の光熱費高騰を鑑み3,800万円に増額。
- ・評価項目・選定基準等に「指定管理料の上限より提案額がどれほど縮減されているか」という項目で配点50点分を追加。

以下のとおり各委員より質疑が行われた。

（質疑）

委員：人件費や光熱費の高騰から、指定管理料の上限を、現在の指定管理料8,300万円から1億1,800万円に上げたとのことだが、経費削減のため、仕様を見直したりはしなかったのか。

事務局：警備について仕様を見直した。仕様書の7ページの（ウ）警備業務として、機械警備業務のみを記載しているが、これまでは、機械警備のほかに人的警備として警備員を配置するよう記載していた。今般、他の公共施設の状況も参考にして、人的警備の記載を削除し、経費縮減に取り組んだ。

委員：令和5年度と6年度にプールの改修工事で半年間ずつ休館されたが、その後、利用者数は工事前程度に戻ってきているのか。

事務局：前年度と比較すると利用者数が少なくなっている。今年4月は前年度比で498人減少し5,356人、5月は311人減少し5,717人、6月は1,064人減少し6,947名となった。休館していないジムの利用者は前年度と比較して増加しているが、プールにおいては現時点ではまだ利用者が戻っていない状況である。

・その他

事務局より今後のスケジュールについて説明を行い、承認された。

次回の選定委員会はプレゼンテーションと採点となり、高石市立ふれあいゾーン複合センター指定管理者候補者選定委員会傍聴要綱第2条第2号により非公開とすることとなった。